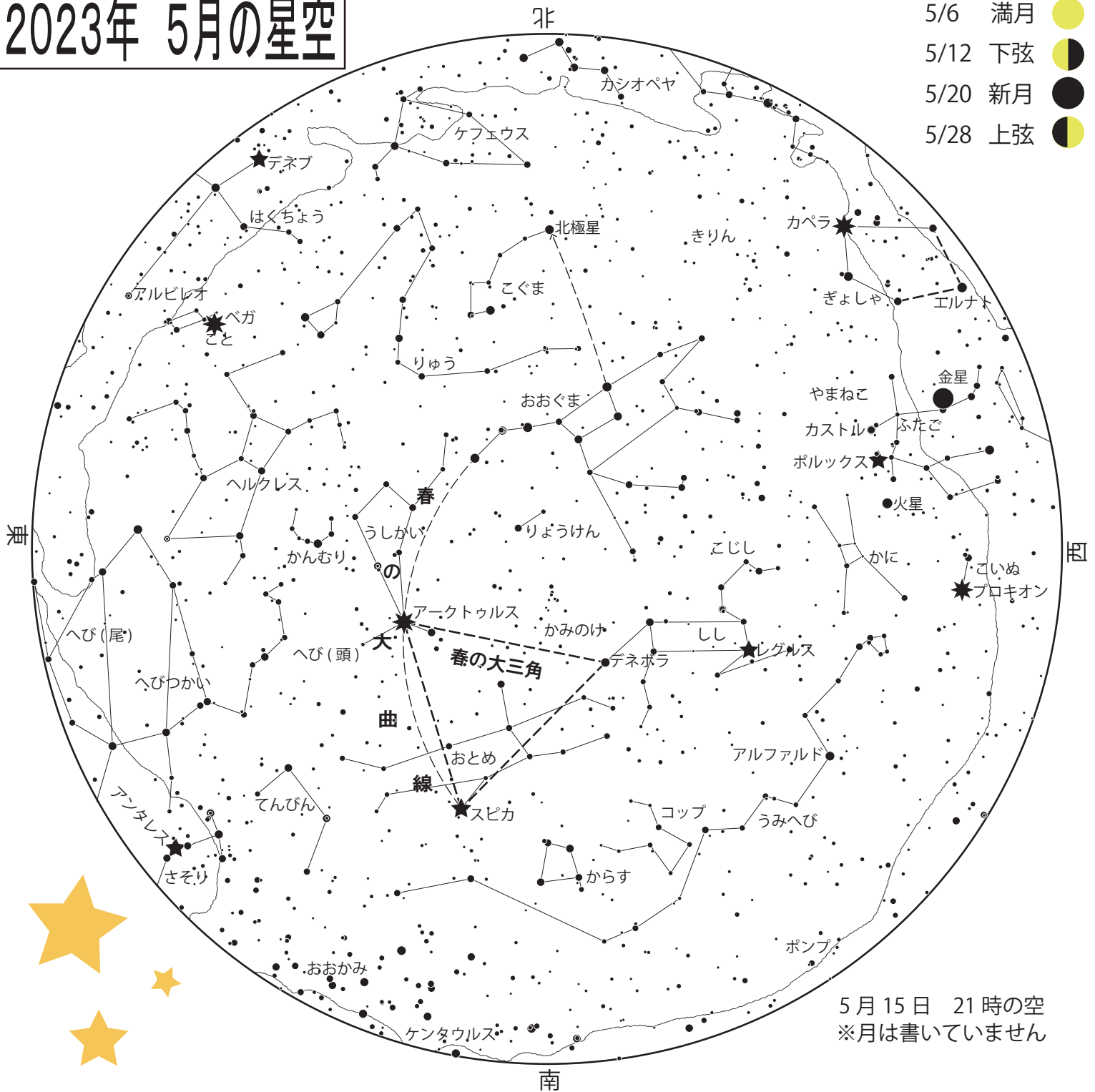


# 姫路で見る 2023年 5月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 5/6 満月 
- 5/12 下弦 
- 5/20 新月 
- 5/28 上弦 



5月15日 21時の空  
※月は書いていません

夕方からよく目立つ**金星**が21時頃でも西の空で輝いています。これからふたご座の**カストル**と**ポルックス**、さらには赤っぽく見える惑星・**火星**のほうへと少しずつ近づいていきます。

頭の上は春の星空が広がります。南西の空を見上げたところには**しし座**が見えています。「？」を裏返したような星の並び「ししの大鎌」が特徴的です。胸元には一等星の**レグルス**、しっぽには二等星の**デネボラ**が輝きます。

北の空高くにはひしゃくの形をした「**北斗七星**」が見えています。ひしゃくの器の先からは北の空の目印・**北極星**を見つけることができます。北斗七星はおおぐま座のしっぽにある星の並びで、北極星はこぐま座のしっぽの星です。

ひしゃくの持ち手をずっと伸ばして「**春の大曲線**」をたどっていくと、オレンジ色をしたうしかい座の**アークトゥルス**、ほんのり青白いおとめ座の**スピカ**に出会います。アークトゥルスとスピカ、デネボラとを結んでできる「**春の大三角**」もぜひ確かめてみてください。